



報道発表資料の配付日時 10月7日(木) 11時30分

発表項目 (行事名)	北海道オープンデータアイデアソン・ハッカソンの開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>道や市町村等のオープンデータ※1を活用し、北海道の魅力・価値向上に資するアイデアを参加者同士で出し合い、チームを作ってサービスやアプリケーションを開発するイベントを開催します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 開催日 令和3(2021)年10月9日(土) 10:00～16:00 (1日目) " 10月10日(日) 10:00～14:30 (2日目)</p> <p>2 開催方法 オンライン開催(ZOOM)</p> <p>3 講師等 総務省 地域情報化アドバイザー 古川 泰人氏 北海道オープンデータ推進協議会理事 林 氏 ほか</p> <p>4 参加者 約20名(事前申込済)</p> <p>5 内容(詳細は別添実施要領のとおり)</p> <p>(1)【テーマ】 北海道の魅力価値創造</p> <p>(2)【日程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/9(1日目): アイデアソン※2、チームビルディング、ハッカソン※3 ・10/10(2日目): ハッカソン(前日続き)、成果発表会 <p>※1 オープンデータ 国、地方公共団体及び事業者が保有する官民データのうち、国民誰もがインターネット等を通じて容易に利用(加工、編集、再配布等)できるよう、以下のいずれにも該当する形で公開されたデータを指します。① 営利目的、非営利目的を問わず二次利用可能なルールが適用されたもの、② 機械判読に適したもの、③ 無償で利用できるもの。</p> <p>※2 アイデアソン アイデア(Idea)と「マラソン(Marathon)」を掛け合わせた造語であり、チームで決められた時間内にアイデアを出し合い、ブラッシュアップ。</p> <p>※3 ハッカソン 「ハック(Hack)」と「マラソン(Marathon)」を掛け合わせた造語で、チームであるテーマに対して限られた期間内にアプリケーション等を開発し、その成果を競い合うイベント</p>		
参考			
報道(取材)に当たってのお願い	・北海道のオープンデータを活用して、北海道の魅力や価値を高めるイベントを開催しますので、報道方よろしくお願いたします。		
他のクラブとの関係	同時配付:(場所) 同時レク:		
担当(連絡先)	総合政策部次世代社会戦略局デジタルトランスフォーメーション推進課 担当: 錦見、佐々木 TEL ダイヤルイン 011-204-5172 内線23-213		

北海道 オープンデータ ハッカソン

参加料
無料

★オープンデータとは
国や地方公共団体が持つデータで、誰でも
自由に利用できるデータを指します。

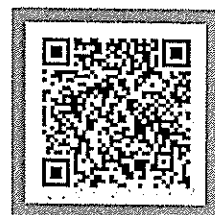
2021年10月9日(土)・10日(日)
10:00~16:30 10:00~14:30

テーマ 北海道の魅力価値創造

北海道内のオープンデータを活用して、コロナ収束後の北海道のさらなる魅力・価値向上に資するアイデアを参加者同士での出し合い、チームを作って、サービスやアプリケーションの開発を行います。

募集人数：20名程度
お申込み：10/5(火)まで

<https://www.harp.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=3mG60GoD>



9月25日(土) 13:30~15:00に勉強会を開催します



お申込み

9/23(木)まで

<https://www.harp.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=av7KY3Wg>

アイデアソン・ハッカソンのプレイベントとして、オープンデータの意義や利活用事例について紹介する勉強会を開催しますが、勉強会のみ参加も歓迎します。

当日スケジュール
は裏面

参加対象

- ✓ IT関連企業の方
 - ✓ 学生の方
 - ✓ 自治体職員 など
- 関心のある方はどなたでも参加できます。

全日程ZOOM開催

申込みをされた方に、別途URLをお知らせいたします。

詳細について

イベントの詳細については、北海道のホームページをご覧ください。
https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/df/society5/r03opendata_event.html



予定スケジュール

※予定は変更することがあります。

勉強会

(9月25日(土))

13:30~13:40	開会
13:40~14:00	オープンデータの基礎知識
14:00~14:30	オープンデータの活用事例
14:30~14:50	アイデアソン・ハッカソン に向けて
14:50~15:00	その他連絡・閉会

**勉強会は
アーカイブ視聴できます**

勉強会開催後、1ヶ月程度YouTubeによる
アーカイブ配信を予定しています。
(URL等はホームページにて公開)

アイデアソン・ハッカソン

(1日目 10月9日(土))

10:00~10:10	開会
10:30~12:00	アイデアソン 自己紹介、アイスブレイク等を行った後、北海道のオープンデータを使って地域課題を解決するようなアイデアを出し合います。
12:00~13:00	~休憩~
13:00~14:40	チームビルディング 午前中に出たアイデアをもとに、チームを作成します。
14:40~14:50	~休憩~
14:50~15:50	ハッカソン チームごとに、課題を解決するような成果作成に向けた開発を行います。
15:50~16:00	~休憩~
16:00~16:20	中間発表
16:20~16:30	事務連絡等・1日目終了

(2日目 10月10日(日))

10:00~10:10	開会
10:10~12:00	ハッカソン・発表準備 1日目の続きと、発表に向けた準備を行います。
12:00~13:00	~休憩~
13:00~13:30	発表会に向けた最終調整
13:30~14:00	成果発表会 1チーム5分程度+質疑応答3分程度で発表を行います。
14:00~14:10	アンケート回答
14:10~14:30	結果発表・講評・閉会

審査の結果、優秀だったチームを表彰します。

【例】最優秀賞 優秀賞 審査員特別賞 アイデア賞

※参加人数によって変動することがあります。

審査基準：★趣旨・目的、★新規性・独自性、
★地域への貢献、★発展性・将来性を総合的に審査して決定します。

最優秀賞のチームには、NoMapsの連携事業として、10/16(土)に
成果物について発表いただきます！(予定)

勉強会講師

アイデアソン・ハッカソン
ファシリテーター

総務省 地域情報化アドバイザー
Code for Japan フェロー
株式会社MIERUNE 取締役

吉川 泰人 氏 ほか

- ✓ ハッカソンで出していたアイデアや成果物はオープンデータとして、ホームページ等で掲載させていただきます。
- ✓ Zoomでの開催となりますので、安定したインターネット環境でご参加ください。
- ✓ イベント中は、録画やスクリーンショットをすることがあります。写りたくないなどありましたらカメラオフにするなどの対応をご自身でとっていただくようお願いします。
- ✓ その他注意事項は、開催概要のホームページをご覧ください(随時更新します)。

北海道オープンデータ勉強会、アイデアソン・ハッカソン実施要領

1 開催目的

オープンデータに関する知識や普及啓発を図るとともに、オープンデータを活用し、北海道の地域づくりに効果的なサービスやツールを生み出す取組を通じて、参加者相互の「知」の共有や新たな価値(データの価値等)を創造すること等を目的に実施します。

2 開催日時

- (1) 勉強会 令和3年9月25日(土) 13:30~15:00
(勉強会:アイデアソン・ハッカソンのプレイベントとして、オープンデータの意義や活用事例について紹介する勉強会を開催します。)
- (2) アイデアソン・ハッカソン 令和3年10月9日(土) 10:00~16:30、
10月10日(日) 10:00~14:30

3 実施方法

WEB (ZOOM) による。

4 参加対象

北海道にゆかりのある IT 関連企業社員、情報系専攻の大学生、短期大学生・専門学校生、道内自治体職員等

5 参加費

無料

6 参加申込期間/参加人数について

- (1) 勉強会 (9/25 開催)
申込期間: 令和3年9月2日(木) ~ 9月23日(木) (60人程度)
- (2) アイデアソン・ハッカソン (10/9, 10 開催)
申込期間: 令和3年9月2日(木) ~ 10月5日(火) (20人程度)

7 申込み方法

次の QR コードよりお申し込みください。

(1) 勉強会の申込み

<https://www.harp.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=av7KY3Wg>



(2) アイデアソン・ハッカソンの申込み

<https://www.harp.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=3mG60GoD>



8 アイデアソン・ハッカソンのテーマ (例)

大テーマ【北海道の魅力・価値創造】

(北海道内のオープンデータ (例えば観光施設やイベント一覧等のデータ、その他公開さ

れている各種データ等)を活用して、コロナ収束後の北海道のさらなる魅力・価値向上に資するアイデアやサービスを参加者同士で出し合い決定する。)

9 講師

総務省地域情報化アドバイザー

Code for Japan フェロー

古川 泰人 氏 (株式会社 MIERUNE 取締役)

10 主催

北海道

北海道オープンデータ推進協議会

11 タイムスケジュール (予定)

① 勉強会 9月25日(土)

時間	プログラム
13:30~13:40	開会
13:40~14:00	オープンデータの基礎知識・所在など
14:00~14:30	オープンデータ活用事例
14:30~14:50	過去の道内ハッカソン事例 アイデアソン・ハッカソンに向けて
14:50~15:00	その他連絡・閉会

② アイデアソン・ハッカソン 10月9日(土) (1日目)

時間	プログラム
10:00~10:10	開会
10:30~12:00	アイデアソン 参加者自己紹介・アイスブレイクなど 北海道のオープンデータを使って地域課題を解決する ようなアイデアを出し合います。
12:00~13:00	～休憩～
13:00~14:40	チームビルディング 午前中に出たアイデアをもとに、チームを作成します。
14:40~14:50	～休憩～
14:50~15:50	ハッカソン チームごとに、アプリケーション等、課題を解決するよう な成果作成に向けた開発を行います。
15:50~16:00	～休憩～
16:00~16:20	中間発表
16:20~16:30	連絡事項等

16:30	1日目終了
-------	-------

・アイデアソン・ハッカソン 10月10日(日) (2日目)

時間	プログラム
10:00～10:10	開会
10:10～12:00	ハッカソン・発表準備
12:00～13:00	休憩
13:00～13:30	発表会に向けた最終調整
13:30～14:00	成果発表会 1チーム5分程度+質疑応答3分程度で発表を行います。
14:00～14:10	アンケート回答
14:10～14:30	結果発表・講評等
14:30	閉会

(※時間はあくまで予定です。)

12 審査等

(1) 審査基準 (案)

- ① 趣旨・目的 (北海道のオープンデータを活用できているか)
- ② 新規性・独自性 (新たなアイデアで、ユニークなものか)
- ③ 地域への貢献 (地域の課題克服に貢献するものであるか)
- ④ 発展性・将来性 (他分野での応用の可能性はあるか)

※上記基準を総合的に審査の上、決定します。

(2) 賞・結果発表

① 賞

審査の結果、優秀だったチームを表彰します。

【最優秀賞】、【優秀賞】、【審査員特別賞】、【アイデア賞】

※参加人数に応じて変更することがあります。

② 結果発表

最優秀賞チームは、10月予定のNoMapsで成果物について発表 (予定)。

13 その他

(1) 個人情報の取扱いについて

北海道個人情報保護条例第6条に基づく「北海道オープンデータアイデアソン・ハッカソン運営事務」として管理し、北海道オープンデータアイデアソン・ハッカソンの運営目的以外には使用しません。

(2) イベント開催結果の公開について

参加者が発表した成果物や開催結果は、参加者の承諾を得た上で、北海道のホームページ等に公開します。

(3) 勉強会のアーカイブ視聴について

9月25日(土)開催の勉強会については、北海道オープンデータ推進協議会開設のYouTubeチャンネルでアーカイブ配信を行う予定です。

(4) 通信環境等について

Zoomでの開催となりますので、安定したインターネット環境でご参加ください。また、イベント中は、録画やスクリーンショットをすることがあります。写りたくない場合はカメラオフにするなどの対応をご自身でとっていただくようお願いいたします。

(5) その他注意事項等は道のHP等をご覧ください。

https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/dtf/society5/r03opendata_event.html



14 問い合わせ先

北海道総合政策部次世代社会戦略局デジタルトランスフォーメーション推進課
(電話011-204-5170 (担当 錦見、高木))

★アイデアソン/ハッカソンとは

◎アイデアソン

「アイデア(Idea)」と「マラソン(Marathon)」を掛け合わせた造語であり、チームで決められた時間内にアイデアを出し合い、ブラッシュアップさせてその結果を競うイベント

◎ハッカソン

「ハック(Hack)」と「マラソン(Marathon)」を掛け合わせた造語で、チームであるテーマに対して限られた期間内にアプリケーションやサービスを開発し、その成果を競い合うイベント

★オープンデータとは

国、地方公共団体及び事業者が保有する官民データのうち、国民誰もがインターネット等を通じて容易に利用(加工、編集、再配布等)できるよう、以下のいずれにも該当する形で公開されたデータを指します。①営利目的、非営利目的を問わず二次利用可能なルールが適用されたもの、②機械判読に適したもの、③無償で利用できるもの。